

## 1年音楽 (MYP2 Arts:Music) 【音楽:1.3単位】

### 科目のねらい

MYPの「芸術」のねらいは、生徒に以下のことを促して、修得させることです。

- ・ 芸術を創作し、展示する
- ・ 学習分野固有のスキルを発展させる
- ・ 創造的探究と（自己）発見のプロセスに取り組む
- ・ 調査と実践の間に目的のあるつながりをもたせる
- ・ 芸術とその文脈の間の関係性を理解する
- ・ 芸術に応答し、芸術を熟考する
- ・ 世界に対する理解を深める

### 目標および評価基準

MYP 評価観点	
A : 知識 と理解	i. 概念、プロセス、適切な言語の使用など、学習した芸術形式についての知識を示す。
	ii. 芸術形式の役割について、元々の、または置き換えられた文脈において知識を示す。
	iii. 獲得した知識を使って、それを芸術成果物に活かす。
B : スキ ルの発展	i. 学習した芸術形式のスキルと技法について、修得と発展を示す。
	ii. 芸術を創作、実演、提示するスキルと技法の適用を示す。
C : 創造 的思考	i. 明確で実現可能な芸術的意図を簡単に述べる。
	ii. 代替案、観点、および創意的解決法を簡単に述べる。
	iii. 作品の完成に至るまでの発展的プロセスにおけるアイデアの探究を示す。
D : 応答	i. つながりを簡単に述べ、新しい設定に学修を転移する。
	ii. 周囲の世界からインスピレーションを受けて芸術的応答を行う。
	iii. 自己及び他人の芸術作品を評価する。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Arts guide」に基づいています。

### 関連概念（音楽の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

受け手	境界	構成(composition)	表現
ジャンル	革新	解釈	物語
劇・戯曲	発表	役	構成(structure)

※目標と評価規準はMYP芸術3のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. アイデンティティ 2. 個人的表現と文化的表現 3. コミュニケーション、創造的思考、自己管理	A2 器楽ア、イ、ウ A3 創作ア、イ、ウ B1 鑑賞ア、イ、ウ  教材 教育芸術社「中学音楽1」「中学器楽」 ・日本古謡「さくらさくら」 ・箏曲「千鳥の曲」	・自作の前奏を含めた箏曲「さくら」器楽発表【B】 ・自作の前奏創作楽曲及び作品解説書【C】 「さくら」のある情景をイメージし、そのイメージに基づく前奏を、音楽を形づくっている要素を交えて日本の伝統音楽の特徴を関わせながら創作する。また、その作品の意図について解説書を記述する。実技発表では自作の前奏から本編までを弾き語りにより演奏する。	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-B  2. C-17
	3	1. 美的感性 2. 個人的表現と文化的表現 3. 批判的思考、転移、自己管理	A1 歌唱ア、イ、ウ A2 器楽ア、イ、ウ B1 鑑賞ア  教材 教育芸術社「中学音楽1」 ・青空へのぼろう ・夏の思い出 教育芸術社「中学器楽」 ・喜びの歌※ ・オーラ・リー※ ・アメージング・グレイス※	・「夏の思い出」「アメージング・グレイス」※演奏発表【B】《観点1、3》 ・演奏解説書【A】《観点2》 楽譜や歌詞などの情報と音楽を形づくっている要素の特徴を関わせ、よりよい表現を考えて歌唱、及びリコーダーによる器楽演奏を行う。併せて、自分の思いや意図を記述した演奏解説書を作成する。	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-A ③主体的に学習に取り組む態度-B  2. A-3
後期 (10月～3月)	5	1. コミュニケーション 2. 空間的および時間的な位置づけ 3. 批判的思考、創造的思考、自己管理	B1 鑑賞ア、イ  教材 教育芸術社「中学音楽2・3下」 ・組曲「展覧会の絵」から	・楽曲から浮かんだ情景やイメージを可視化した影絵作品の上演【C】《観点2》 ・影絵作品に関わる作品解説書【C.D】《観点1・3》 楽曲の鑑賞により頭に浮かんだ情景やイメージを可視化するため、影絵を作成して上演する。自分の思い浮かべた情景やイメージと音楽を形づくっている要素とのかかわりについて触れながら、作品解説書を記述する。	1. ①知識・技能-C ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-C.D  2. B-9

※新型コロナウイルスの蔓延状況により、リコーダーを使用した学習の可否について判断する。

## 2年音楽 (MYP3 Arts:Music) 【音楽:1単位】

### 科目のねらい

MYPの「芸術」のねらいは、生徒に以下のことを促して、修得させることです。

- ・ 芸術を創作し、展示する
- ・ 学習分野固有のスキルを発展させる
- ・ 創造的探究と（自己）発見のプロセスに取り組む
- ・ 調査と実践の間に目的のあるつながりをもたせる
- ・ 芸術とその文脈の間の関係性を理解する
- ・ 芸術に応答し、芸術を熟考する
- ・ 世界に対する理解を深める

### 目標および評価基準

MYP 評価観点	
A : 知識 と理解	i. 概念、プロセス、適切な言語の使用など、学習した芸術形式についての知識を示す。
	ii. 芸術形式の役割について、元々の、または置き換えられた文脈において知識を示す。
	iii. 獲得した知識を使って、それを芸術成果物に活かす。
B : スキル の発展	i. 学習した芸術形式のスキルと技法について、修得と発展を示す。
	ii. 芸術を創作、実演、提示するスキルと技法の適用を示す。
C : 創造 的思考	i. 明確で実現可能な芸術的意図を簡単に述べる。
	ii. 代替案、観点、および創意的解決法を簡単に述べる。
	iii. 作品の完成に至るまでの発展的プロセスにおけるアイデアの探究を示す。
D : 応答	i. つながりを簡単に述べ、新しい設定に学修を転移する。
	ii. 周囲の世界からインスピレーションを受けて芸術的応答を行う。
	iii. 自己及び他人の芸術作品を評価する。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Arts guide」に基づいています。

### 関連概念 (音楽の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます)

受け手	境界	構成(composition)	表現
ジャンル	革新	解釈	物語
劇・戯曲	発表	役	構成(structure)

※目標と評価規準はMYP芸術3のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. 美的感性 2. 空間的および時間的な位置づけ 3. 情報リテラシー、メディアリテラシー、自己管理	B2 鑑賞ア、イ、ウ  教材 教育芸術社「中学音楽2・3下」 ・オペラ「アイダ」 ・歌舞伎「勧進帳」	・「オペラと歌舞伎の類似点・相違点とその魅力」についてプレゼンテーションデータ制作【A】 ・「オペラと歌舞伎」の作品批評文【D】 オペラと歌舞伎の比較鑑賞によって感じた類似点または相違点から、2つの視点を結び付けて「総合芸術の魅力」を論ずるプレゼンテーションデータを作成する。	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-D ③主体的に学習に取り組む態度-D  2. C-17
	3	1. 美的感性 2. 個人的表現と文化的表現 3. 協働、情動、自己管理	A1 歌唱ア、イ、ウ A2 器楽ア、イ、ウ  教材 ・少年時代（井上陽水、夏川りみ、野々村彩乃、五木ひろし、宇多田ヒカル） 教育芸術社「中学音楽2・3上」 ・カントリー・ロード 教育芸術社「中学器楽」 ・きらきら星※ ・ジョイフル コンビネーション2	・「カントリー・ロード」「ジョイフル コンビネーション2」※演奏発表【B】《観点1、3》 ・演奏解説書【A】《観点2》 声の音色やリコーダーのアーティキュレーションの工夫による工夫※、またはボディパーカッションの音色の変化による楽曲表現を追求し、楽譜や歌詞などの情報と音楽を形づくっている要素の特徴を聞かせ、よりよい表現を考えて歌唱、及びリコーダー※またはボディパーカッションによる器楽演奏を行う。併せて、自分の思いや意図を記述した演奏解説書を作成する。	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-A ③主体的に学習に取り組む態度-B  2. A-3
後期 (10月～3月)	5	1. アイデンティティー 2. 空間的および時間的な位置づけ 3. 協働、転移、創造的思考、自己管理	B1 鑑賞ア A3 創作ア、イ、ウ  教材 教育芸術社「中学音楽2・3下」 ・言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう ・CMソングをつくろう 楽譜作成ソフトFlat	・形式や構成を生かした創作楽曲【C】 ・楽曲解説書【A】 音楽の構成や形式を理解し、反復・変化・対照を活用した楽曲を創作する。自分の思いや意図と音楽を形づくっている要素をどのように関わらせたのかを記述した楽曲解説書を作成する。	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-C  2. B-9

※新型コロナウイルスの蔓延状況により、リコーダーを使用した学習の可否について判断する。

### 3<sup>rd</sup> Grade Arts (MYP4 Arts:Music ) 【音楽 : 1 単位】

#### Aims

The aims of MYP arts are to encourage and enable students to:

- Create and present art
- Develop skills specific to the discipline
- Engage in a process of creative exploration and (self-)discovery
- Make purposeful connections between investigation and practice
- Understand the relationship between art and its contexts
- Respond and reflect on art
- Deepen their understanding of the world

#### Objectives and Assessment Criteria

MYP Assessment Criteria	
A: Knowing and understanding	i. Demonstrate knowledge and understanding of the art form studied, including concepts, processes, and the use of subject-specific terminology
	ii. Demonstrate understanding of the role of the art form in original or displaced contexts
	iii. Use acquired knowledge to purposefully inform artistic decisions in the process of creating artwork.
B: Developing skills	i. Demonstrate the acquisition and development of the skills and techniques of the art form studied
	ii. Demonstrate the application of skills and techniques to create, perform and/or present art
C: Thinking creatively	i. Develop a feasible, clear, imaginative and coherent artistic intention
	ii. Demonstrate a range and depth of creative-thinking behaviours
	iii. Demonstrate the exploration of ideas to shape artistic intention through to a point of realization
D: Responding	i. Construct meaning and transfer learning to new settings
	ii. Create an artistic response that intends to reflect or impact on the world around them
	iii. Critique the artwork of self and others

※Aims and objectives, IB0, MYP Arts guide

#### Related concepts (develop more complex and sophisticated conceptual understanding)

Audience	Boundaries	Composition	Expression
Genre	Innovation	Interpretation	Narrative
Play	Presentation	Role	Structure

※Aims and Assessment Criteria are from MYP Arts Year5

Overview

Semester	Unit	1. Key Concept 2. Global Context 3. ATL	Content Materials	Summative Task [Objectives]	1. Japanese Course of Study 2. Morals
1st Semester	1	1. Communication, Identity 2. Personal and Cultural Expression 3. Communication Skills Thinking Skills	A3 創作の活動 (ア、イ) B1 鑑賞の活動 (ア、イ、ウ) B2 鑑賞教材 〔共通事項〕音楽の要素: 特質や雰囲気、用語や記号など (ア、イ)	Communication among musicians  - Composition: a piece in musical notation 【C】 - Analysis 【A】	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-C  2. A-3, A-5
	3	1. Aesthetics 2. Identities and Relationships 3. Social Skills, Self-Management Skills	A1 歌唱の活動 (ア、イ) A2 器楽の活動 (ア、イ) A4 表現教材: 我が国及び諸外国の様々な音楽 (意欲を高める)、歌唱教材 (ア、イ) 〔共通事項〕音楽の要素: 特質や雰囲気、用語や記号など (ア、イ)	Aesthetic judgement in Music  - Singing and playing the recorder in parts 【B】 - Performance Plan 【D】	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-D ③主体的に学習に取り組む態度-B  2. B-8, B-9
2nd Semester	5	1. Change 2. Orientation in Space and Time 3. Thinking Skills, Research Skills	B1 鑑賞の活動 (ア、イ、ウ) B2 鑑賞教材 〔共通事項〕音楽の要素: 特質や雰囲気、用語や記号など (ア、イ)	Popular Music  - Individual Report: Compare 2 musical genres in popular music 【A】 【D】 - Individual Presentation	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-D ③主体的に学習に取り組む態度-D  2. C-18

※新型コロナウイルスの蔓延状況により、リコーダーを使用した学習の可否について判断する。

## 4<sup>th</sup> Grade Arts (MYP5 Arts:Music ) 【音楽 : 2 単位】

### Aims

- The aims of MYP arts are to encourage and enable students to:
- Create and present art
  - Develop skills specific to the discipline
  - Engage in a process of creative exploration and (self-)discovery
  - Make purposeful connections between investigation and practice
  - Understand the relationship between art and its contexts
  - Respond and reflect on art
  - Deepen their understanding of the world

### Objectives and Assessment Criteria

MYP Assessment Criteria	
A: Knowing and understanding	i. Demonstrate knowledge and understanding of the art form studied, including concepts, processes, and the use of subject-specific terminology
	ii. Demonstrate understanding of the role of the art form in original or displaced contexts
	iii. Use acquired knowledge to purposefully inform artistic decisions in the process of creating artwork.
B: Developing skills	i. Demonstrate the acquisition and development of the skills and techniques of the art form studied
	ii. Demonstrate the application of skills and techniques to create, perform and/or present art
C: Thinking creatively	i. Develop a feasible, clear, imaginative and coherent artistic intention
	ii. Demonstrate a range and depth of creative-thinking behaviours
	iii. Demonstrate the exploration of ideas to shape artistic intention through to a point of realization
D: Responding	i. Construct meaning and transfer learning to new settings
	ii. Create an artistic response that intends to reflect or impact on the world around them
	iii. Critique the artwork of self and others

※Aims and objectives, IB0, MYP Arts guide

### Related concepts (develop more complex and sophisticated conceptual understanding)

Audience	Boundaries	Composition	Expression
Genre	Innovation	Interpretation	Narrative
Play	Presentation	Role	Structure

※Aims and Assessment Criteria are from MYP Arts Year5

Overview

Semester	Unit	1. Key Concept 2. Global Context 3. ATL	Content Materials	Summative Task [Objectives]	1. Japanese Course of Study 2. Morals
1st Semester	1	1. Identity 2. Globalization and Sustainability 3. Social Skills Research Skills	A2 器楽表現 (ア、イ、ウ) B 鑑賞 (ア、イ、ウ)	World Music  - Performing: Koto and Shamisen 【B】 - Comparison: Japanese musical instrument and another musical instrument from a different culture 【D】	①知識・技能-B ②思考・判断・表現-D ③主体的に学習に取り組む態度-B
	2	1. Aesthetics 2. Personal and Cultural Expression 3. Communication Skills, Thinking Skills	A3 創作表現 (ア、ウ) B 鑑賞 (ア、イ)	Motivic Development in Music  - Notation 【A】 - Variation 【C】	①知識・技能-A ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-C
2nd Semester	3	1. Aesthetics 2. Personal and Cultural Expression 3. Communication Skills, Self-Management Skills	A1 歌唱表現 (ア、イ、ウ) B 鑑賞 (ア、イ)	Text and Music  - Singing 【B】 - Discuss word painting in songs 【A】	①知識・技能-B ②思考・判断・表現-A ③主体的に学習に取り組む態度-B
	4	1. Change 2. Orientation in Space and Time 3. Research Skills, Thinking Skills	A3 創作表現 (ア、イ、ウ) B 鑑賞 (ア、イ)	Western Music History & Theory  - Identify different musical elements and styles 【D】 - Compose a melody to given chords 【C】	①知識・技能-D ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-C
	5	1. Communication 2. Identities and Relationships 3. All ATL Skills	A1 歌唱表現 (ア、イ、ウ) A2 器楽表現 (ア、イ、ウ) A3 創作表現 (ア、イ、ウ) B 鑑賞 (ア、イ)	Creating Music in Style  -Process Journal 【A】 【D】 - Composition in GarageBand 【B】 【C】 - Peer Feedback 【D】	① 知識・技能-A, B ② 思考・判断・表現-C, D ③ 主体的に学習に取り組む態度-B, C

※新型コロナウイルスの蔓延状況により、リコーダーを使用した学習の可否について判断する。

## 1年美術（MYP 2 Arts : Visual Arts）【1.3 単位】

### 科目のねらい

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術を創出して示す。</li> <li>・ 固有のスキルを発展させる。</li> <li>・ 創造的な探究や（自己）発見のプロセスをたどる。</li> <li>・ 研究（調査）と実践を意図的につなげる。</li> <li>・ 芸術とそのコンテキストの関係を理解する。</li> <li>・ 芸術に応え、思案する。</li> <li>・ 世界に対する理解を深める</li> </ul>
--

### 目標および評価基準

MYP 評価観点	
A … 知識と理解	i. 概念、過程、専門用語の適切な使用（活用）を含めて、学習した芸術形式についての理解を示す。 ii. 元々のコンテキスト（おかれた状況）、または変換されたコンテキストにおける芸術形式の役割の理解を示す。 iii. 学習した知識を使って自分の作品を伝える。
B … 技能の発展	i. 学習した芸術形式のスキルや技術の習得と上達（発展）を示す。 ii. 芸術を創造、演奏や提示するためのスキルや技術の応用を示す。
C … 創造的思考	i. 明確で適切な芸術的意図の概要を提示する。 ii. 代替手段、視点、創造的な解決方法の概要を提示する。 iii. 具現化へ至る発展的な過程を通して、アイディアの探究を論証する。
D … 鑑賞	i. 関連の概要を提示し、学習したことを新しい場面に転用する。 ii. 身の回りの世界からの刺激に対して芸術的な反応を創出する。 iii. 自分の作品や他人の作品を評価する。

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Art guide」に基づいています。

### 関連概念（数学の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

受け手	境界	構成	表現
ジャンル	革新	解釈	物語
発表	表象	様式	視覚文化

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題の MYP 評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	2	1. 形 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーション、整理整頓、情動、振り返り、批判的思考、創造的思考、転移	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デッサン基礎</li> <li>・ 美しい線や形について</li> <li>・ デザイン</li> <li>・ 相互探究</li> <li>・ 作品制作</li> <li>・ 講評会</li> <li>・ ユニットまとめ</li> </ul>	<p>「作品」【B】 完成した作品から、技能面（糸鋸、接着、整形：彫刻刀、表面処理：ヤスリ、デザインの再現度）を評価する</p> <p>「デザインシート」、「ブックレット」【C】 デザインシートから、条件に合った発想と表現、協働による発展、完成度を評価する ブックレットの記述から、的を得た深く詳細な記述、学習事項の詳細な記録、ATLの意識、今後の学習につながる記述、適正で詳細な自己評価を評価する</p> <p>「講評シート」【D】 他への講評やプリントの記述から、多面的な視点、相手を意識した詳細な記述、自己への転移を評価する</p>	<p>1. ①知識・技能B ②思考・判断・表現力C、D</p> <p>2. A 4</p>
	4	1. 美意識 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーション、整理整頓、情動、振り返り、批判的思考、創造的思考、転移	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構図の学習</li> <li>・ 色の学習</li> <li>・ デザイン着色、水彩技法</li> <li>・ 音を色や形でイメージ</li> <li>・ 作品制作</li> <li>・ 相互探究</li> <li>・ 講評会</li> <li>・ ユニットまとめ</li> </ul>	<p>「作品」【B】 完成した作品から、技能面（カッターでのパーツカット、表現：水彩技法やアドバイスの実践、両面テープでの接着）を評価する</p> <p>「ブックレット」【C】 ブックレットの記述から、的を得た深く詳細な記述、学習事項の詳細な記録、ATLの意識、今後の学習につながる記述、適正で詳細な自己評価を評価する</p> <p>「講評シート」【D】 他への講評やプリントの記述から、多面的な視点、相手を意識した詳細な記述、自己への転移を評価する</p>	<p>1. ①知識・技能B ②思考・判断・表現力C、D</p> <p>2. B 9</p>
後期 (10月～3月)	6	1. 文化 2. 個人的表現と文化的表現 3. 整理整頓、情動、振り返り、情報リテラシー、メディアリテラシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の美術に関する探究</li> <li>・ 条件に合ったテーマ設定</li> <li>・ レポート作成</li> <li>・ 発表会</li> <li>・ ユニットまとめ</li> </ul>	<p>「ワークシート」【A】 ワークシートの記述から、条件に合ったテーマ設定、調べた内容の詳細な記録、情報量を評価する</p>	<p>1. ③主体的に取り組む態度A</p> <p>2. D 2 1</p>

※学際的な単元(IDU)として「数学と美術『エッシャーの技法を用いた表現』を通して、パターンがもたらす美しさに気づき、美しさの表現の多様性」を学びます。

## 2年美術 (MYP 3 Arts : Visual arts) 【1単位】

### 科目のねらい

- ・ 芸術を創出して示す。
- ・ 固有のスキルを発展させる。
- ・ 創造的な探究や（自己）発見のプロセスをたどる。
- ・ 研究（調査）と実践を意図的につなげる。
- ・ 芸術とそのコンテキストの関係を理解する。
- ・ 芸術に応え、思案する。
- ・ 世界に対する理解を深める

### 目標および評価基準

MYP 評価観点	
A … 知識と理解	i. 概念、過程、専門用語の適切な使用（活用）を含めて、学習した芸術形式についての理解を示す。
	ii. 元々のコンテキスト（おかれた状況）、または変換されたコンテキストにおける芸術形式の役割の理解を示す。
	iii. 学習した知識を使って自分の作品を伝える。
B … 技能の発展	i. 学習した芸術形式のスキルや技術の習得と上達（発展）を示す。
	ii. 芸術を創造、演奏や提示するためのスキルや技術の応用を示す。
C … 創造的思考	i. 明確で適切な芸術的意図の概要を提示する。
	ii. 代替手段、視点、創造的な解決方法の概要を提示する。
	iii. 具現化へ至る発展的な過程を通して、アイディアの探究を論証する。
D … 鑑賞	i. 関連の概要を提示し、学習したことを新しい場面に転用する。
	ii. 身の回りの世界からの刺激に対して芸術的な反応を創出する。
	iii. 自分の作品や他人の作品を評価する。

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Art guide」に基づいています。

### 関連概念（数学の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

受け手	境界	構成	表現
ジャンル	革新	解釈	物語
発表	表象	様式	視覚文化

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	2	1. 創造性 2. 個人的表現と文化的表現 3. コミュニケーション、整理整頓、情動、振り返り、批判的思考、創造的思考、転移	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちや感情を形で表す</li> <li>・相互探究</li> <li>・デザイン作成</li> <li>・作品制作</li> <li>・講評会</li> <li>・ユニットまとめ</li> </ul>	<p>「作品」【B】 完成した作品から、技能面（整形、表面処理、デザインの再現度）を評価する</p> <p>「デザインシート」、「ブックレット」【C】 デザインシートから、条件に合った発想と表現、協働による発展、完成度を評価する ブックレットの記述から、的を得た深く詳細な記述、学習事項の詳細な記録、ATLの意識、今後の学習につながる記述、適正で詳細な自己評価を評価する</p> <p>「講評シート」【D】 他への講評やプリントの記述から、多面的な視点、相手を意識した詳細な記述、自己への転移を評価する</p>	<p>1. ①知識・技能B ②思考・判断・表現力C、D</p> <p>2. A 4</p>
後期 (10月～3月)	4	1. 創造性 2. 個人的表現と文化的表現 3. コミュニケーション、整理整頓、情動、振り返り、批判的思考、創造的思考、転移	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵画の種類について</li> <li>・空想画とは</li> <li>・作品テーマの設定</li> <li>・画面、配色構成、構図検討</li> <li>・参考画像の設定</li> <li>・作品制作</li> <li>・講評会</li> <li>・ユニットまとめ</li> </ul>	<p>「作品」【B】 完成した作品から、技能面（参考画像を活用した着彩技能、デザインの再現度）を評価する</p> <p>「デザインシート」、「ブックレット」【C】 デザインシートから、空想画に適したテーマ設定、効果的な画面構成・構図・配色構成を評価する ブックレットの記述から、的を得た深く詳細な記述、学習事項の詳細な記録、ATLの意識、今後の学習につながる記述、適正で詳細な自己評価を評価する</p> <p>「講評シート」【D】 他への講評やプリントの記述から、多面的な視点、相手を意識した詳細な記述、自己への転移を評価する</p>	<p>1. ①知識・技能B ②思考・判断・表現力C、D</p> <p>2. B 9</p>
	6	1. 文化 2. 個人的表現と文化的表現 3. 整理整頓、情動、振り返り、情報リテラシー、メディアリテラシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の美術に関する探究</li> <li>・条件に合ったテーマ設定</li> <li>・レポート作成</li> <li>・発表会</li> <li>・ユニットまとめ</li> </ul>	<p>「ワークシート」【A】 ワークシートの記述から、条件に合ったテーマ設定、調べた内容の詳細な記録、情報量を評価する</p>	<p>1. ③主体的に取り組む態度A</p> <p>2. D 2 1</p>

### 3<sup>rd</sup> Grade Arts (MYP4 Arts: Art ) 【美術 : 1 単位】

#### Aims ねらい

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Create and present art 芸術を創出して示す。</li> <li>・ Develop skills specific to the discipline 固有のスキルを発展させる。</li> <li>・ Engage in a process of creative exploration and (self-)discovery 創造的な探究や（自己）発見のプロセスをたどる。</li> <li>・ Make purposeful connections between investigation and practice 研究（調査）と実践を意図的につなげる。</li> <li>・ Understand the relationship between art and its contexts 芸術とそのコンテキストの関係を理解する。</li> <li>・ Respond and reflect on art 芸術に応え、思案する。</li> <li>・ Deepen their understanding of the world 世界に対する理解を深める。</li> </ul>
--

#### Objectives and Assessment Criteria 目標及び評価規準

MYP Assessment Criteria	
A: Knowing and understanding 知識と理解	i. Demonstrate knowledge and understanding of the art form studied, including concepts, processes, and the use of subject-specific terminology 概念、過程、教科に特化した専門用語の使用を含めて、学習した芸術形式についての知識と理解を論証する。
	ii. Demonstrate understanding of the role of the art form in original or displaced contexts 元々のコンテキスト（おかれた状況）、または変換されたコンテキストにおける芸術形式の役割の理解を論証する。
	iii. Use acquired knowledge to purposefully inform artistic decisions in the process of creating artwork. 学習した知識を使って、芸術的な決定を自分の作品を意図して伝える。
B: Developing Skills 技能の発展	i. Demonstrate the acquisition and development of the skills and techniques of the art form studied 学習した芸術形式のスキルや技術の習得と上達（発展）を論証する。
	ii. Demonstrate the application of skills and techniques to create, perform and/or present art 芸術を創造、演奏や提示するためのスキルや技術の応用を論証する。
C: Thinking creatively 創造的思考	i. Develop a feasible, clear, imaginative and coherent artistic intention 適切で、明確で、創造的で、関係性がある芸術的意図を発展させる。
	ii. Demonstrate a range and depth of creative-thinking behaviors 創造的思考の行動の広さと深さを論証する。
	iii. Demonstrate the exploration of ideas to shape artistic intention through to a point of realization 具現化へ至る芸術的意図を形成するアイデアの探究を論証する。
D: Responding 鑑賞	i. Construct meaning and transfer learning to new settings 意味を作成し、学習したことを新しい場面に転用する。
	ii. Create an artistic response that intends to reflect or impact on the world around them 身の回りの世界を反映、もしくは影響を与えるような芸術的な反応を創出する。
	iii. Critique the artwork of self and others 自分の作品や他人の作品を批評する。

Related concepts (develop more complex and sophisticated conceptual understanding)

"Audience 受け手"	"Boundaries 境界"	"Composition 構成"	"Expression 表現"
"Genre ジャンル"	"Innovation 革新"	"Interpretation 解釈"	"Narrative 物語"
"Presentation 発表"	"Representation 表象"	"Style 様式"	"Visual Culture 視覚文化"

Overview

Semester	Unit	1. Key Concept 2. Global Context 3. ATL	Content Materials	Summative Task [Objectives]	1. Japanese Course of Study 2. Morals
1st Semester	1	1. Identity アイデンティティ 2. Personal and Cultural Expression 個人と文化の表現 3. Research Social, Thinking	A1 表現、版画 (ア、ウ) A3 技能 (ア、イ) B1 鑑賞の活動 (ア、イ、ウ) 〔共通事項〕 (ア、イ)	<b>Self-portrait 自画像</b>  - Composition: Drawing self-portrait on paper with 2B and 6B pencils. 構図を決める。紙に 2B と 6B の鉛筆で自画像を描く。 【B】  - Analysis: Identity through human expression and gesture. 分析する。人間の表情やしぐさによるアイデンティティ 【D】	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-D ③主体的に学習に取り組む態度-D  2. A-3
	3	1. Orientation in Space and Time 空間的・時間的位置づけ 2. Identities and Relationships アイ デンティティと関係 3. Self- Management Thinking Communication	A2 表現、絵画 (ア、イ、ウ) A3 技能 (ア、イ) 〔共通事項〕 (ア、イ)	<b>Landscape Painting 風景画の制作をとおして地域を理解する</b>  - Thinking about Kaisei School community through Impressionism and Expressionism using colors to express emotion. 色で感情を表現する印象派・表現主義を通して、開成学校コミュニティを考える。 【A】 - Painting landscape with Gouache painting set. ガッシュ画セットで風景画を描く 【B】	1. ①知識・技能-A ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-A  2. B-9
2nd Semester	5	1. Form 形 2. Personal and Cultural Expression 個人と文化の表現 3. Thinking Research Communication	A1 絵や彫刻の活動 (ア、イ) A3 技能 (ア、イ) B1 鑑賞の活動 (ア、イ、ウ) 〔共通事項〕 (ア、イ)	<b>Relief Carving 木彫によるレリーフ制作</b>  - Relief Carving on a black board (block) 半立体造形による抽象の表現 【B】 - Approach to conceptual art / Appreciation of our culture through art. 概念芸術入門 / 芸術を通して文化を鑑賞する。 【C】 - Individual Presentation 個人プレゼンテーション 【D】	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D  2. C-17

※新型コロナウイルスの蔓延状況により、リコーダーを使用した学習の可否について判断する。

4<sup>th</sup> Grade Arts (MYP5 Arts: Art) 【美術：2単位】

Aims ねらい

<ul style="list-style-type: none"> <li>• Create and present art 芸術を創出して示す。</li> <li>• Develop skills specific to the discipline 固有のスキルを発展させる。</li> <li>• Engage in a process of creative exploration and (self-)discovery 創造的な探究や（自己）発見のプロセスをたどる。</li> <li>• Make purposeful connections between investigation and practice 研究（調査）と実践を意図的につなげる。</li> <li>• Understand the relationship between art and its contexts 芸術とそのコンテキストの関係を理解する。</li> <li>• Respond and reflect on art 芸術に応え、思案する。</li> <li>• Deepen their understanding of the world 世界に対する理解を深める。</li> </ul>
--

Objectives and Assessment Criteria 目標及び評価規準

MYP Assessment Criteria	
A:Knowing and understanding 知識と理解	i. Demonstrate knowledge and understanding of the art form studied, including concepts, processes, and the use of subject-specific terminology 概念、過程、教科に特化した専門用語の使用を含めて、学習した芸術形式についての知識と理解を論証する。
	ii. Demonstrate understanding of the role of the art form in original or displaced contexts 元々のコンテキスト（おかれた状況）、または変換されたコンテキストにおける芸術形式の役割の理解を論証する。
	iii. Use acquired knowledge to purposefully inform artistic decisions in the process of creating artwork. 学習した知識を使って、芸術的な決定を自分の作品を意図して伝える。
B:Developing Skills 技能の発展	i. Demonstrate the acquisition and development of the skills and techniques of the art form studied 学習した芸術形式のスキルや技術の習得と上達（発展）を論証する。
	ii. Demonstrate the application of skills and techniques to create, perform and/or present art 芸術を創造、演奏や提示するためのスキルや技術の応用を論証する。
C:Thinking creatively 創造的思考	i. Develop a feasible, clear, imaginative and coherent artistic intention 適切で、明確で、創造的で、関係性がある芸術的意図を発展させる。
	ii. Demonstrate a range and depth of creative-thinking behaviors 創造的思考の行動の広さと深さを論証する。
	iii. Demonstrate the exploration of ideas to shape artistic intention through to a point of realization 具現化へ至る芸術的意図を形成するアイデアの探究を論証する。
D:Responding 鑑賞	i. Construct meaning and transfer learning to new settings 意味を作成し、学習したことを新しい場面に転用する。
	ii. Create an artistic response that intends to reflect or impact on the world around them 身の回りの世界を反映、もしくは影響を与えるような芸術的な反応を創出する。
	iii. Critique the artwork of self and others 自分の作品や他人の作品を批評する。

Related concepts (develop more complex and sophisticated conceptual understanding)

"Audience 受け手"	"Boundaries 境界"	"Composition 構成"	"Expression 表現"
"Genre ジャンル"	"Innovation 革新"	"Interpretation 解釈"	"Narrative 物語"
"Presentation 発表"	"Representation 表象"	"Style 様式"	"Visual Culture 視覚文化"

※Aims and Assessment Criteria are from MYP Arts Year5

## Overview

Semester	Unit	1. Key Concept 2. Global Context 3. ATL	Content Materials	Summative Task [Objectives]	1. Japanese Course of Study 2. Morals
1st Semester	1	1. Development 2. Personal and Cultural Expression 3. Research, Social, Communication, Thinking, Self-Management	A2 デザイン (ア、イ、ウ) B 鑑賞 (ア、ウ)	<b>Architecture</b> - Research buildings from smart device and get inspiration in creating model buildings from wooden sheets with hot glue guns. Focus on creating a strong base. <b>[A]</b> -Slide presentation and Peer Feedback <b>[D]</b>	①知識・技能-A ②思考・判断・表現-D ③主体的に学習に取り組む態度-A
	2	1. Aesthetics 2. Identities and Relationships 3. Research, Communication, Social, Thinking	A1 絵画・彫刻 (ア、イ) B 鑑賞 (ア、エ)	<b>Calligraphy</b> -Students will develop their own writing style <b>[B]</b> -Writing a message in English to a loved one. <b>[C]</b>	①知識・技能-B ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-C
2nd Semester	3	1. Aesthetics 2. Identities and Relationships 3. Social, Thinking	A 2 技能 (ア、イ) B 鑑賞 (ア、ウ)	<b>Painting</b> -Students take a deeper look into how the original artist made their art work and try to adapt painting style into their own. -Understanding how paintings are made. - Slide presentation and Peer Feedback <b>[A]</b> -Creating original painting. Getting inspiration from master art works and thinking of creating their own original painting. Understanding the artist's method of painting. <b>[B]</b>	①知識・技能-A ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-A
	4	1. Form 2. Globalization and Sustainability 3. Research, Thinking, Self-Management	A1 絵画・彫刻 (ア、エ) B 鑑賞 (ア、エ)	<b>Clay Sculpture</b> -Approach to creating clay sculptures within one session. Original art work: Creativity in Symbolic abstract art. <b>[C]</b> -SDGs Theme / Students create a clay sculpture as a monument to remind themselves of what positive change they want to have in the future. - Slide presentation and Peer Feedback <b>[D]</b>	①知識・技能-D ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D
	5	1. Form 2. Personal and Cultural Expression 3. Social, Thinking	A1 絵画・彫刻 (ウ、エ) B 鑑賞 (ア、イ、ウ)	<b>Sketching Gestures</b> - Students will pose a movement for a few seconds as the other students make a short video. Students will sketch the pose within the video. Unique poses <b>[C]</b> - Understanding how the human body moves. - Analysis and Response <b>[D]</b>	①知識・技能-D ②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D

※新型コロナウイルスの蔓延状況により、リコーダーを使用した学習の可否について判断する。

## 4 年次書道 (MYP 5 Arts:Calligraphy) 【書道 I : 2 単位】

### 科目のねらい

MYP 芸術の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・ 芸術を創出して示す。
- ・ 固有のスキルを発展させる。
- ・ 創造的な探求や（自己）発見のプロセスをたどる。
- ・ 研究（調査）と実践を意図的につなげる。
- ・ 芸術とそのコンテキストの関係を理解する。
- ・ 芸術に応え、思案する。
- ・ 世界に対する理解を深める。

### 目標および評価基準

MYP 評価観点	
A : 知識と理解	i. 概念、過程、教科に特化した専門用語の使用を含めて、学習した芸術形式についての知識と理解を論証する。
	ii. 元々のコンテキスト（おかれた状況）、または変換されたコンテキストにおける芸術形式の役割の理解を論証する。
	iii. 学習した知識を使って、芸術的な決定を自分の作品を意図して伝える。
B : 技術の発展	i. 学習した芸術形式のスキルや技術の習得と上達（発展）を論証する。
	ii. 芸術を創造、演奏や提示するためのスキルや技術の応用を論証する。
C : 創造的思考	i. 適切で、明確で、創造的で、関係性がある芸術的意図を発展させる。
	ii. 創造的思考の行動の広さと深さを論証する。
	iii. 具現化へ至る芸術的意図を形成するアイデアの探究を論証する。
D : 鑑賞	i. 意味を作成し、学習したことを新しい場面に転用する。
	ii. 身の回りの世界を反映、もしくは影響を与えるような芸術的な反応を創出する。
	iii. 自分の作品や他人の作品を批評する。

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「Arts guide」に基づいています。

関連概念（数学の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

変化	同値	一般化	近似
妥当性	モデル	パターン	数量
表現	単純化	空間	システム

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	学習指導要領観点との対応
前期 （4月～9月）	1	1. 変化 2. 空間的・時間的位置づけ 3. リサーチ・批判的思考スキル	書道文化 書写と書道の違い 篆刻作品の制作 A表現（2）アイ	「呉昌石作品の模刻」【B】 呉昌石の作品を模刻することを通して、篆刻作品における工夫を発見すると共に、今まで使用してきた用具・用材との違いを理解する。また、基本的な運刀技術を評価する。 「自用印の作成」【C】 自分の名前を構成を工夫しながら作成し、その表現を評価する。	①知識・技能-B ②思考・判断・表現-C
	2	1. 美しさ 2. 個人的表現と文化的表現 3. メディアリテラシー、協働、批判的思考スキル	楷書による表現 北魏・唐時代の楷書の学習 筆法・結体の違いの理解 A表現（2）アウ	「授業」【AD】 グループで担当した古典の魅力・用筆法を伝える授業を行ってもらう。文字に表れる表現の工夫を理解しているか（鑑賞）、また、当時の書の特徴を理解しているか（知識）を評価する。 「倣書」【B】 古典の持つ特徴を理解し、それを表現できているかを評価する。	①知識・技能-A ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-D
	3	1. つながり 2. 空間的および時間的な位置づけ 3. 創造的思考、情動、転移スキル	仮名の学習 日本固有の美である仮名書の特徴を生かし、国語で学習した和歌を散らし書きにする。 A表現（3）アイウ	「散らし書きの作品」【ABC】 変体仮名の理解（知識）、仮名の線質表現技能（技能）、構成の工夫（創造）について評価する。 「課題説明書」【D】 自身の作品について意図をもって表現できているかを評価する。	①知識・技能-A B ②思考・判断・表現-C D
後期 （10月～3月）	4	1. アイデンティティ 2. アイデンティティと関係性 3. 転移、情報リテラシー、批判的思考	漢字仮名交じりの書 普段使用している言葉を使って写真の感動を伝える書作品の作成に取り組む。 A表現（1）アウ	「ポスター作成」【C】 情報機器を使用し、効果的な空間構成を考えポスターを作成する。紙面全体を俯瞰し構成出来ているか、写真の情景と言葉の表現が調和しているかを評価する。 「課題説明書」【D】 自身の作品について意図をもって表現できているかを評価する。	②思考・判断・表現-C ③主体的に学習に取り組む態度-D